

## 高3 稲場 水球世界得点王

### 初代表 日本4強に貢献

水球のワールドリーグで得点王になった稲場悠介



高校3年生が鮮烈な世界デビューを飾った。水球男子の日本代表、稲場悠介（富山・第一学院高）がこのほどブダペストで行われたワールドリーグ（WL）で得点王に輝いた。今年初代表の新鋭は6試合で14ゴールを挙げ、日本の史上初の4強入りに貢献。「自信になった。うれしい」と喜びを口にした。

肩が強く、体の大きな海外選手に前をふさがれてもシュートを打ち切る力強さがある。大本洋嗣監督は「ぶち抜いてしまふ。今までの日本選手にいないタイプ」となる。初の主要国際大会となったWLでも物おしせずゴールを量産。本場モンテネグロの世界的な選手2人と並んで得点王となり、最も活躍した若手に贈られる「ベスト・ヤングプレーヤー賞」も同時に受賞した。

富山市生まれで、兄の影響で水球を始めたのは小学1年生。シュートを決める感覚が気持ち良かったとのめり込み、めきめきと成長した。昨年12月から今年3月にかけてはモンテネグロで武者修行。「パワーだけでは戦えない」と技術にも磨きをかけた。

高校卒業後は海外のプロリーグに進むことも視野に入れている。日本のエース候補は、20歳で2020年東京五輪を迎える。「ちよつと伸び盛りの時期。若さを武器に、びきりのことを最大限やりたい」と目を輝かせた。